

授業科目名	社会調査法	科目コード	G1102L03
英文名	Social Research Methodology		

科目区分	学部共通科目 - 基礎科目		
------	---------------	--	--

職名	助教	担当教員名	梁 庭昌
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	1限目
開講時期	2年後期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本講義では、量的な手法に焦点を当て、調査方法とデータ分析などの技術的側面から社会調査を学ぶ。また、社会調査の考え方についても学ぶ。具体的には、さまざまな社会調査の手法、データ収集から結果分析までのプロセス、また調査倫理などについて、調査の実例を紹介しながら説明する。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	社会調査	定量調査	データ集計	データ分析
-------	------	------	-------	-------

到達目標	社会調査の基本的な考え方を理解することができる。			
	社会調査の分類とそれぞれの事例を理解し、社会調査の全体像を把握することができる。			
	社会調査の基本的な手順を理解し、データ集計および分析方法を把握することができる。			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上	幅広く多様な専門知識の修得

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、社会調査の全体像	
	【予習】本講義の概要や到達目標、各回の内容を確認する。	60分
	【復習】社会調査の全体像を確認する。	60分
第2回	社会調査とは何か：事例の紹介	
	【予習】「社会調査の具体的な事例として何が挙げられるか」について調べておくこと。	60分
	【復習】社会調査の事例を理解し、それぞれの調査目的をまとめること。	60分
第3回	社会調査にはどのようなものがあるか：社会調査の分類	
	【予習】「社会調査はどのように分類されるか」について調べておくこと。	60分
	【復習】社会調査の分類とそれぞれの特徴をまとめること。	60分
第4回	社会調査の事前準備とは：社会調査の企画	
	【予習】「社会調査を実施する前にはどのような準備が必要なのか」について調べておくこと。	60分
	【復習】社会調査を企画するための必要事項をまとめること。	60分
第5回	社会調査の対象は誰か：標本調査	
	【予習】「全数調査と標本調査との違いは何か」について調べておくこと。	60分
	【復習】標本抽出の方法と注意点、また標本サイズの決め方をまとめること。	60分
第6回	第3回から第5回までの講義内容を総括し、小テストを行う。	
	【予習】第3回から第5回までの内容（社会調査の分類、社会調査の企画、標本調査）を確認し整理すること。	90分
	【復習】小テストでわからなかった内容を確認すること。	30分
第7回	小テストのフィードバック・解説 社会調査の主な手段とは何か：調査票の作成（1）	
	【予習】「社会調査の調査票にはどのようなものがあるか」について調べておくこと。	60分
	【復習】調査票の種類と作成上の注意点をまとめること。	60分
第8回	社会調査の主な手段とは何か：調査票の作成（2）	
	【予習】「調査票の参考となる資料」について調べておくこと。	60分
	【復習】事前に調べた資料を参考し、実際に調査票を作成してみる。	60分

第9回	調査票の結果をどのようにまとめるか：調査結果の集計・とりまとめ（1）	
	【予習】「調査票の結果を分析可能なデータに変換するにはどのような方法があるか」について調べておくこと。	60分
	【復習】調査結果の集計方法、結果のとりまとめ方法をまとめること。	60分
第10回	調査票の結果をどのようにまとめるか：調査結果の集計・とりまとめ（2）	
	【予習】「調査票の自由回答を分析可能なデータに変換するにはどのような方法があるか」について調べておくこと。	60分
	【復習】調査票の自由回答を処理する基本的な方法をまとめること。	60分
第11回	第7回から第10回までの講義内容を総括し、小テストを行う。	
	【予習】第7回から第10回までの内容（調査票の作成、調査結果の集計・とりまとめ）を確認し整理すること。	90分
	【復習】小テストでわからなかった内容を確認すること。	30分
第12回	小テストのフィードバック・解説 既存の知見をさらなる拡張するために：文献調査	
	【予習】「文献を調べる方法はどのようなものが挙げられるか」について調べておくこと。	60分
	【復習】文献調査の主な方法を実践してみること。	60分
第13回	既存データをどのように利用するか：社会調査データの利用	
	【予習】「既存の社会調査データを入手できるデータアーカイブにはどのようなものがあるか」について調べておくこと。	60分
	【復習】主な社会調査データアーカイブからデータを入手する方法を身につけること。	60分
第14回	オンラインで社会調査を実施する場合：インターネット調査	
	【予習】「オンラインで社会調査を実施するにはどのような方法があるか」について調べておくこと。	60分
	【復習】Googleフォームを利用して調査票の作成を実践すること。	60分
第15回	社会調査するための遵守事項とは：社会調査における法と倫理	
	【予習】「社会調査の倫理とは何か」について調べておくこと。	60分
	【復習】個人情報保護法と社会調査の基本的な倫理をまとめること。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト(2回) 40% ・最終課題レポート 60% ・富山国際大学成績評価基準に従って評価する 		
使用資料 <テキスト>	講義の際に適宜資料を用意し、一部を配布する。	使用資料 <参考図書>	伊達平和・高田聖治『社会調査法(データサイエンス大系)』, 学術図書出版社, 2011
授業外学修等	予習、復習を合計、週2時間必要とする。その他、新聞、雑誌、ニュースなど、社会問題や社会動向などの関連記事に常に目を通しておくこと。		
授業外質問方法	適宜相談に応じるが、電子メールなどで事前にアポイントを取ること。		
オフィス・アワー			